

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	庭園学演習					授業形態	演習		
科目コード	710053	単位数	4単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	牧田 直子								
授業概要	<p>設計ができない、設計図を理解できないと施工もできないのが現代の造園空間である。本授業では、主に住宅庭園を対象地とし、小さな庭園でも設計ができることを目指す。また、最低限必要である設計の基礎的知識と技術、設計図の見方、設計手法（基礎）と設計技術、プレゼンテーション力を習得する。さらにレベルアップできるように個別指導形式で行う。コンセプトを考え、平面図、立面図、パース図を作成し、プレゼンテーションを行い、提案する能力を身につける。生活空間のありかた、居住環境に付随する庭園デザインのあり方、構成要素（植栽やエクステリアの要素）、スケール、周辺環境について理解し、エクステリアの製図作成手法やパース制作技法についての表現技術を課題を通して習得する。住宅と庭園の設計施工に10年以上携わった経験を持つ教員が担当する科目。</p>								
関連する科目	<p>事前に基礎製図演習Ⅰ、Ⅱを履修することが望ましいが、個別指導して行くので、履修していない場合でも製図を描けるように指導していく。本講義と同時に庭園学、造園ガーデニング実習Ⅰ、造園植栽論、測量学、測量学実習を履修し、設計と施工の両面で学習することが望ましい。事後に造園ガーデニング実習Ⅱ、敷地計画論演習を受講し、さらなるレベルアップをはかることが望ましい。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>スタジオ形式で進める。課題について説明した後、個々のペースで作業を進める、個々の作品について、作成方法やテクニックについては個別指導で行っていく。以下の授業計画は進捗の目安である。目安まで進められていない場合は授業時間外で仕上げる。</p>								
授業計画 【第1回】	庭園図面の表現方法① 線のひき方や図面作成の基礎を習得する。								
授業計画 【第2回】	庭園図面の表現方法② 庭園図面のトレースを行いながら住宅庭園の図面の描き方を習得する。（提出①）								
授業計画 【第3回】	庭園図面の表現方法③ 植栽の平面、立面を描く。図面における植栽の表現方法を習得する。								
授業計画 【第4回】	庭園図面の表現方法④ ③に引き続き、植栽の平面、立面を描く。図面における植栽の表現方法を習得する。（提出②） 植栽図が書き終わったら、次の課題の提示を行うので、図書館などで資料の収集を行う。								
授業計画 【第5回】	住宅庭園図面の作成① 課題である住宅庭園のコンセプトを考えゾーニングを行う。コンセプトの考え方、まとめ方とゾーニング手法を指導する。コンセプトの内容、ゾーニングについては個別指導する。								
授業計画 【第6回】	住宅庭園図面の作成② ①に引き続き、課題である住宅庭園のコンセプトを考えゾーニングを行う。コンセプトの考え方、まとめ方とゾーニング手法を指導する。コンセプトの内容、ゾーニングについては個別指導する。								
授業計画 【第7回】	住宅庭園図面の作成③ ゾーニングの修正、平面図を作成する。作成については個別指導する。								
授業計画 【第8回】	住宅庭園図面の作成④ ③に引き続き平面図を作成する。作成については個別指導する。								
授業計画 【第9回】	住宅庭園図面の作成⑤ ④に引き続き、平面図を作成する。作成については個別指導する。								
授業計画 【第10回】	住宅庭園図面の作成⑥ ⑥に引き続き、平面図を作成する。作成については個別指導する。								
授業計画 【第11回】	住宅庭園図面の作成⑦ 立面図、パース図を作成する。作成方法については個別指導する。								
授業計画 【第12回】	住宅庭園図面の作成⑧ ⑦に引き続き立面図、パース図を作成する。作成方法については個別指導する。								
授業計画 【第13回】	住宅庭園図面の作成⑨ 平面図、パース図を着彩する。着彩技術については個別指導する。								
授業計画 【第14回】	住宅庭園図面の作成⑩ ⑨に引き続き平面図、パース図を着彩する。着彩技術については個別指導する。								
授業計画 【第15回】	住宅庭園図面の作成⑪ 平面図、パース図を仕上げる。								
授業計画 【第16回】	住宅庭園図面の作成⑫ ⑪に引き続き平面図、パース図を仕上げる。								
授業計画 【第17回】	住宅庭園図面の作成⑬ プレゼン資料を作成する。パソコンへ画像を取り込み、レイアウト、説明文などを入力しプレゼン資料を作成する。								
授業計画 【第18回】	住宅庭園図面の作成⑭ ⑭に引き続きプレゼン資料を作成する。パソコンへ画像を取り込み、レイアウト、説明文などを入力しプレゼン資料を作成する。								
授業計画 【第19回】	住宅庭園図面の作成⑮ 課題である住宅庭園のプレゼンを行う。								
授業計画 【第20回】	住宅庭園図面の作成⑯ ⑮に引き続き課題である住宅庭園のプレゼンを行う。（提出③）								
授業計画 【第21回】	庭園設計① 課題に沿った内容で設計する。コンセプトを考える。内容については個別指導を行う。								
授業計画 【第22回】	庭園設計② 課題に沿った内容で設計する。ゾーニングを行う。内容については個別指導を行う。								

授業計画 【第23回】	庭園設計③ 課題に沿った内容で設計する。平面図を作成する。内容については個別指導を行う。
授業計画 【第24回】	庭園設計④ 課題に沿った内容で設計する。③から引き続き平面図を作成する。内容については個別指導を行う。
授業計画 【第25回】	庭園設計⑤ 課題に沿った内容で設計する。パースを作成する。内容については個別指導を行う。
授業計画 【第26回】	庭園設計⑥ 課題に沿った内容で設計する。⑥から引き続きパースを作成する。内容については個別指導を行う。
授業計画 【第27回】	庭園設計⑦ 課題に沿った内容で設計する。着色など仕上げを行う。内容については個別指導を行う。
授業計画 【第28回】	庭園設計⑧ 課題に沿った内容で設計する。⑦から引き続き着色など仕上げを行う。内容については個別指導を行う。
授業計画 【第29回】	庭園設計⑨ 課題に沿った内容で設計する。プレゼン資料を作成する。
授業計画 【第30回】	庭園設計⑩ 課題に沿った内容で設計する。設計したものについてプレゼンを行う。(提出④)
授業の到達目標	住宅庭園の設計ができることを目標とする。 周辺環境を理解し、さらに実現性のある独自のアイデアを盛り込み提案ができること、実際に施工できる図面を作成することができること。正しい製図であること。プレゼンができること。 【専門分野のスキル】【プレゼンテーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	パースの書き方、着色方法などは、授業中に紹介した書籍などを基に、予習しておくこと。 課題が出された時点で、常に設計のアイデアがわくように図書館などで資料を閲覧する。 使用する樹木、植栽、草花や庭園の構成要素について何をどの場所を使用するかなど、事例を研究を進めておくこと。 アイデアスクラップブックの作成。
授業時間外の学修 【復習】	授業内に予定した課題が終わらない場合は復習時間を利用して仕上げること。
課題に対する フィードバック	課題に対する評価（発表時）
評価方法・基準	課題の提出及び出来栄によって評価する 提出物各100点：評価基準=①図面のスケールが正しいこと、②独創的なプランであること、③実現できそうなプランであること、④周囲の環境に配慮できていること、⑤居住者の利用を考えていること、⑥製図の手順が理解できていること、⑦平面図、パースが正しく描けていること、⑧納期が守れること、⑨図面やプレゼン資料が美しいこと ⑩プレゼンできちんと伝えられていること 4つの課題合計400点満点を以下の比重で算出 (1) 庭園図面の表現方法=5% : (2) 庭園図面の表現方法=5% : (3) 住宅庭園図面の作成70% : (4) 庭園設計20%
テキスト	都度配布
参考書	講義時に紹介する
備考	